



トステム株式会社

あやどり

可動式日除け 彩鳥C型・CR型 取付け説明書

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

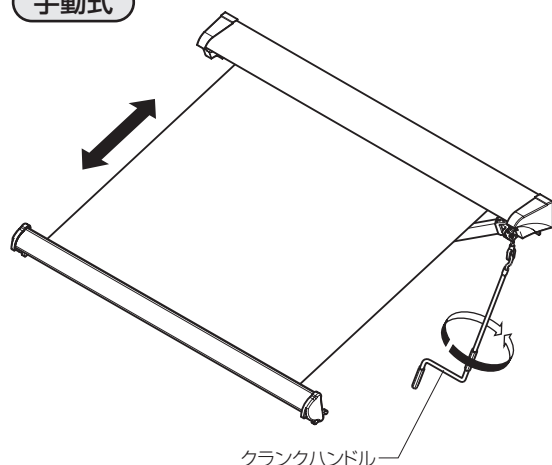
- 商品が落下・破損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ブラケット・ベースプレートは、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。
 - ・指定のボルト・ねじで固定してください。
 - ・コーチスクリューφ9を使用する場合は、必ず構造材に45mm以上ねじ込んでください。付属のコーチスクリューだと長さが足りない場合は、別途用意してください。
 - ・アジャストアンカーφ10(オプション)を使用する場合は、必ずRC本体に45mm以上埋込んでください。
 - ・スクリーンをピンと張った状態で限度テープが見えた場合は、見えない範囲にフック金具を固定し直してください。
- 強いスプリングでアームが伸びてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・アームをブラケット・前枠に取付け終わるまで、アームバンドを外さないでください。
 - ・アームバンドを外す際は、手で押さえてください。
- 漏水のおそれがありますので、ねじ穴にはコーキング材を充てんしてください。
- 積雪地域ではベースプレートを通して入れてください。

■取付け上のおお願い

- 強風(10m/s以上)のとき、又は突風が予想される場合は、必ずキャンバスを巻取ってください。
- キャンバス生地・フリル生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気を付けてください。
- 特注寸法でご注文の場合、ケースセットなどは規格寸法品のため現場加工してください。
- (電動スイッチ式)** **(電動リモコン式)** の場合、モーター(巻取りパイプ)は日影に入れて熱くならないようにしてください。

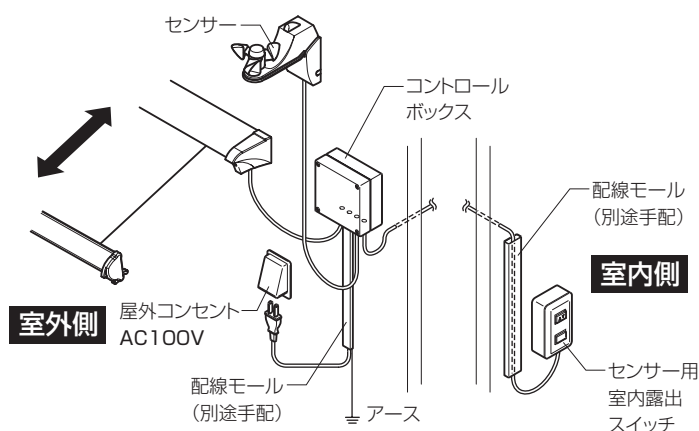
■タイプ一覧(手動式/電動スイッチ式/電動リモコン式)

手動式



電動スイッチ式

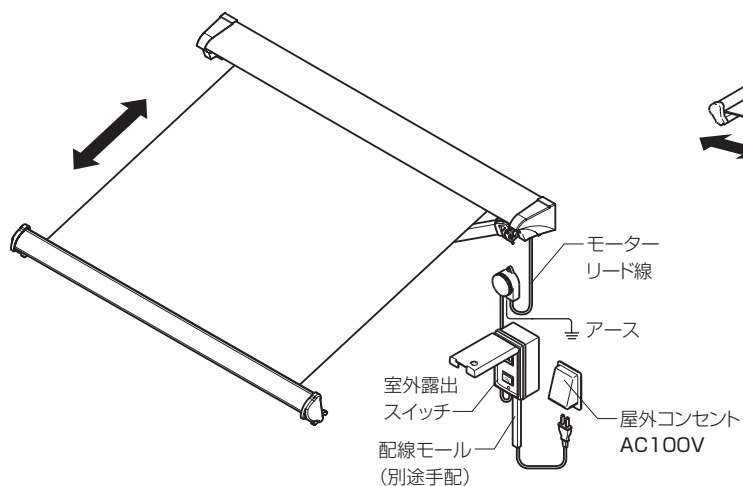
●風力センサースイッチ仕様/風力陽光センサースイッチ仕様



※室外露出スイッチ仕様は特注対応

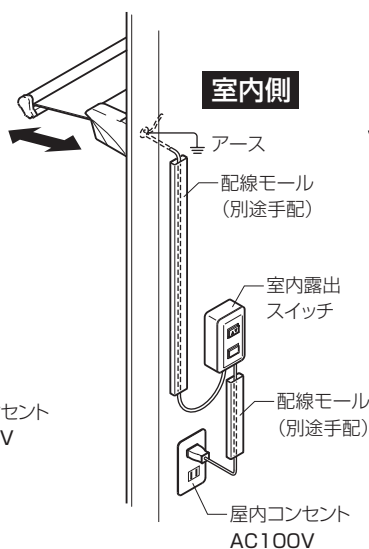
電動スイッチ式

●室外露出スイッチ仕様



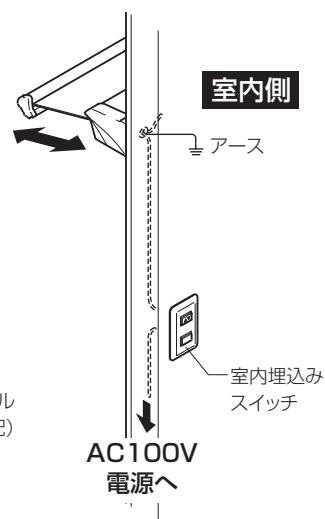
電動スイッチ式

●室内露出スイッチ仕様

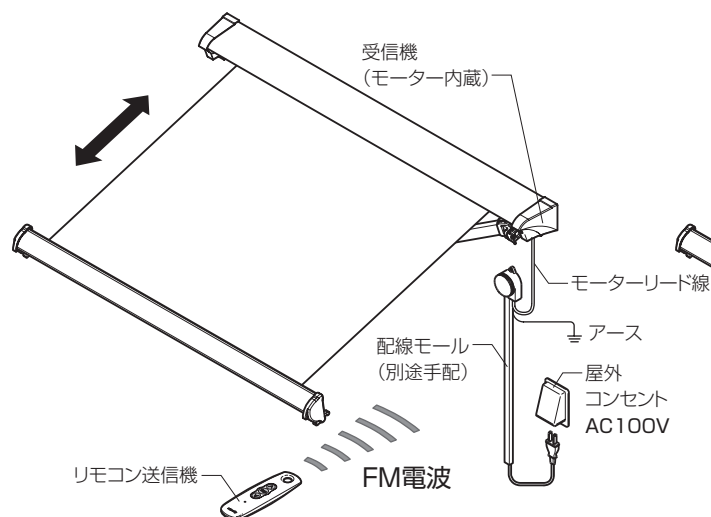


電動スイッチ式

●室内埋込みスイッチ仕様

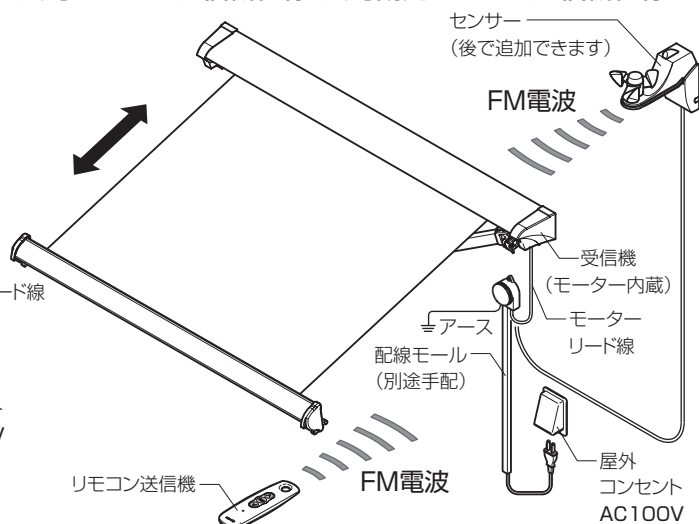


電動リモコン式



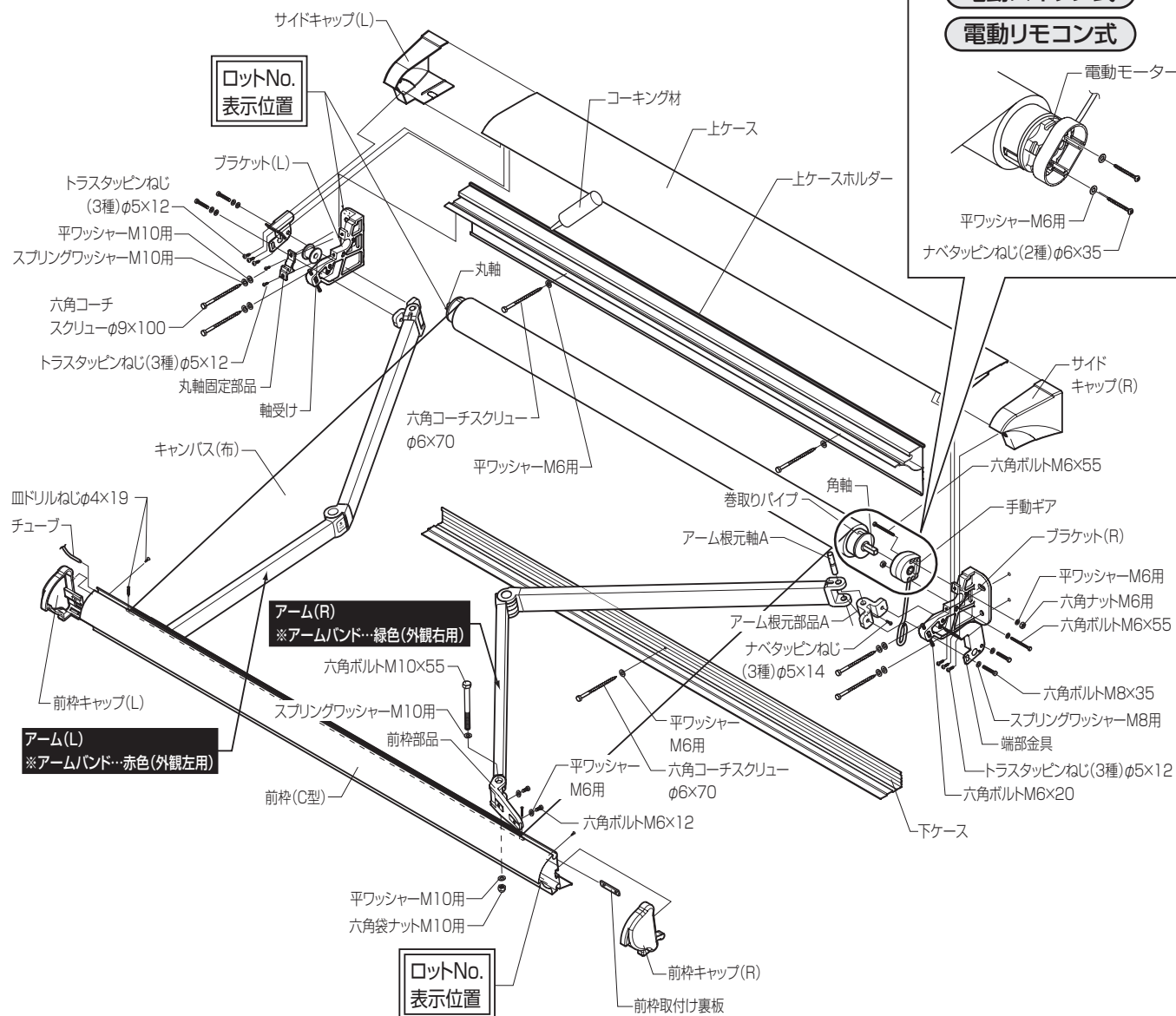
電動リモコン式

●風力センサー送信機仕様/風力陽光センサー送信機仕様



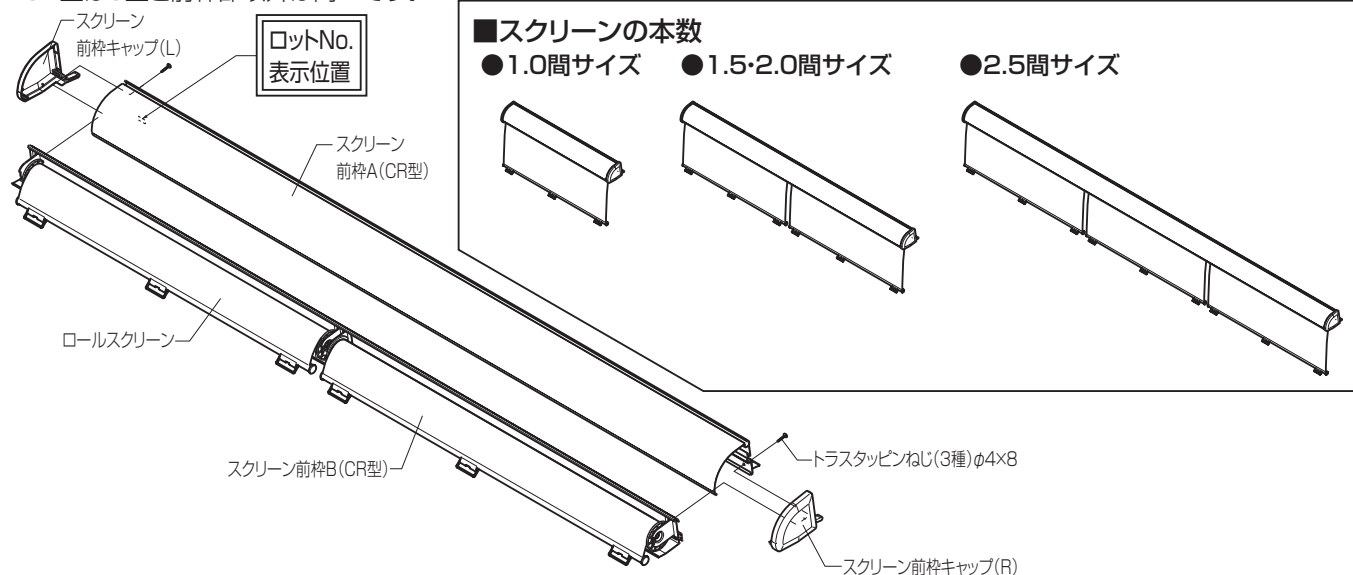
■構造説明図

※本図は外観を示し、**(手動式)**を例に示します。



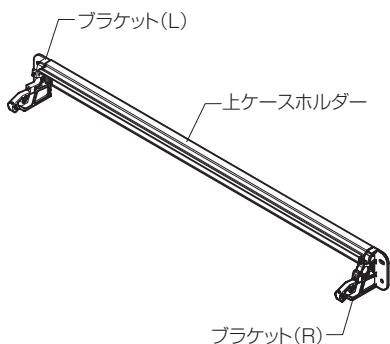
■CR型 前枠部

※CR型はC型と前枠部以外は同一です。



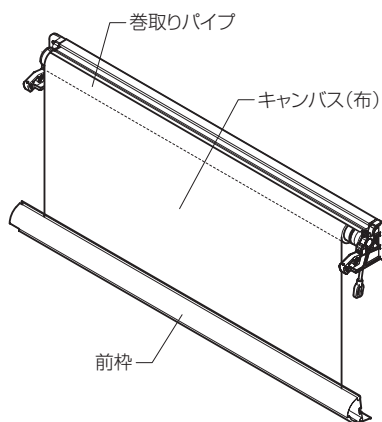
■取付け順序

1 上ケースホルダー・ブラケットの取付け

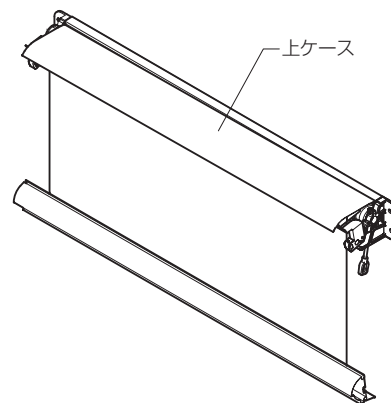


※ブラケット取付け面の面出しをしてください。

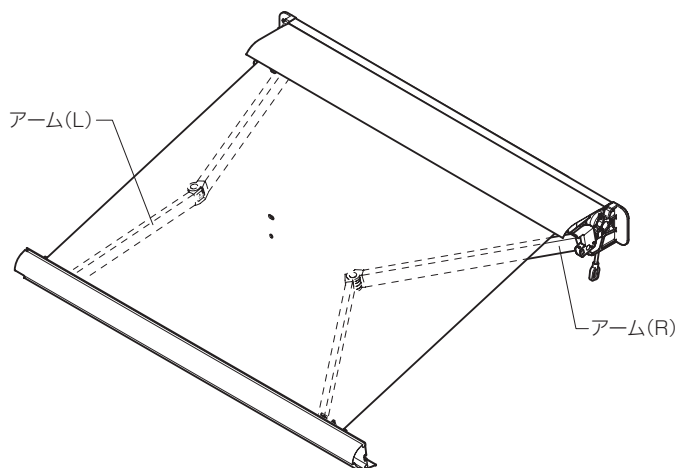
2 巻取りパイプの取付け



3 上ケースの取付け



4 アームの取付け・調整



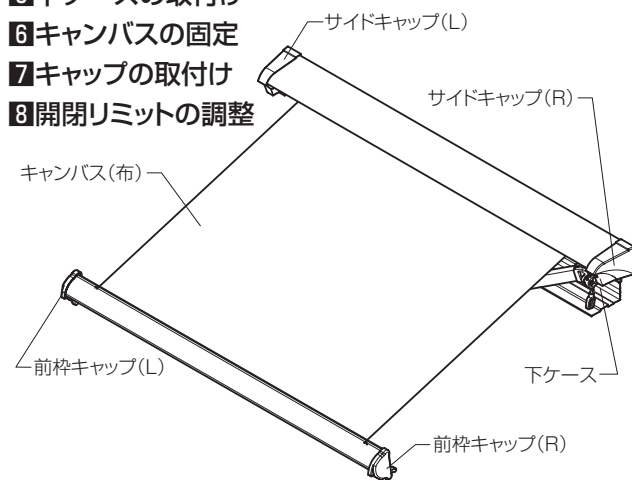
※左右のアームをブラケット・前枠に取付け終るまで、アームバンドを外さないでください。

5 下ケースの取付け

6 キャンバスの固定

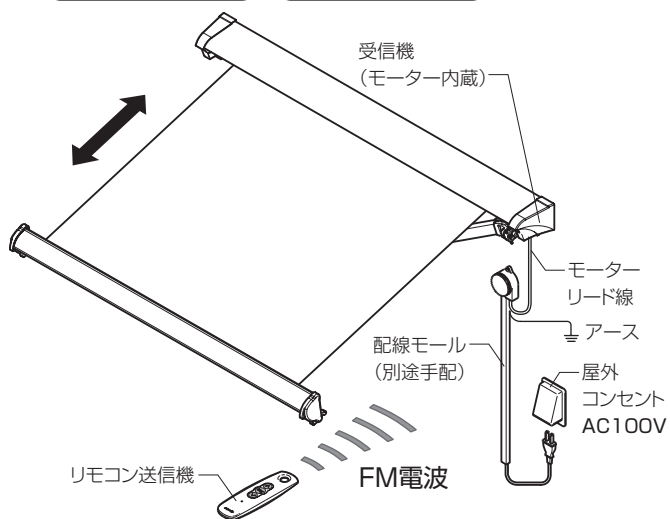
7 キャップの取付け

8 開閉リミットの調整



※(電動スイッチ式) および(電動リモコン式)の場合は、結線してリミット調整してください。

■ 電動スイッチ式 電動リモコン式 の電気配線

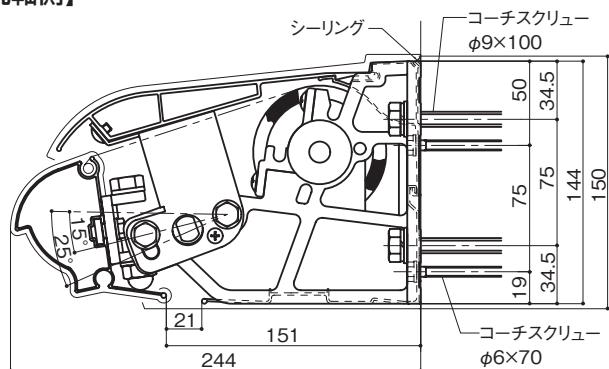


※電気工事説明書をご覧ください。

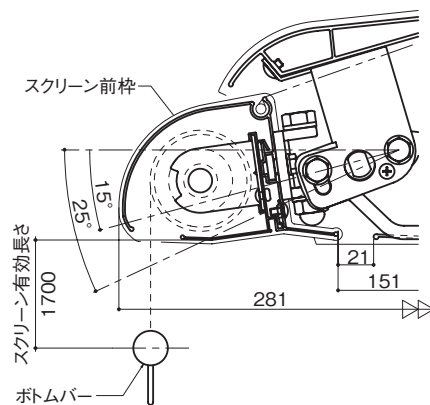
■断面納まり図

●C型

【丸軸側】

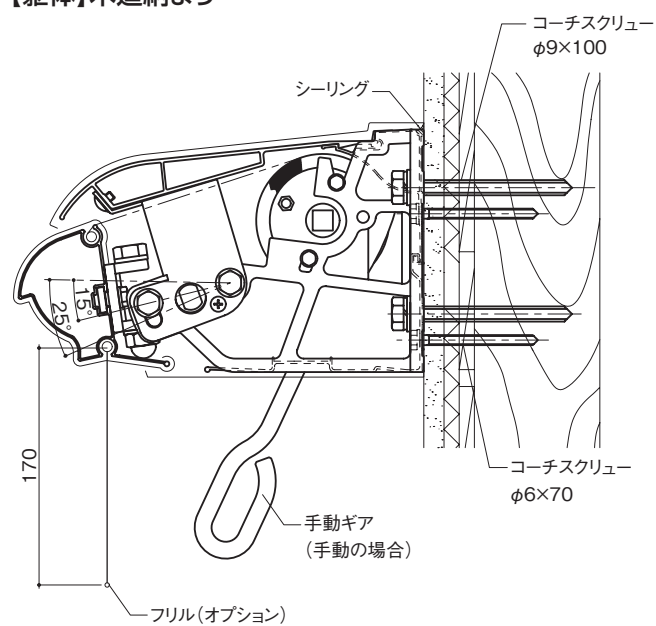


●CR型



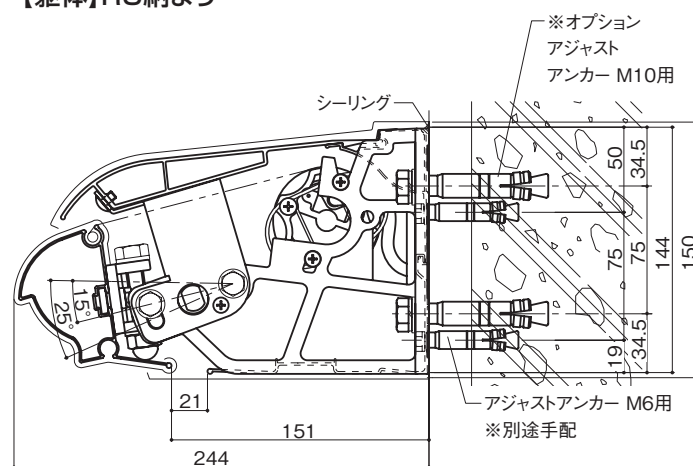
【手動式(手動ギア側)】

【躯体】木造納まり

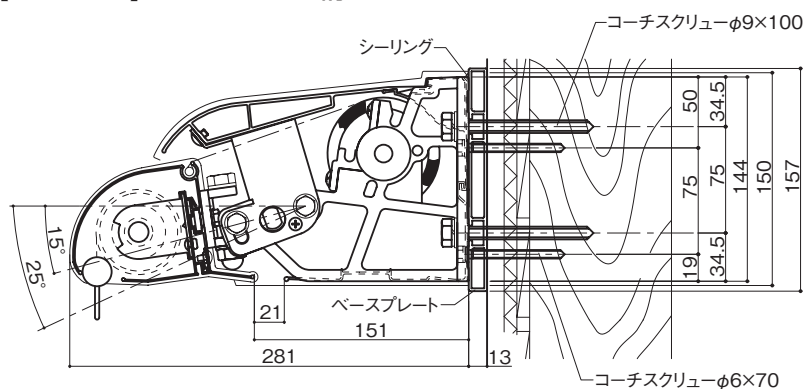


【電動スイッチ式／電動リモコン式(モーター側)】

【躯体】RC納まり



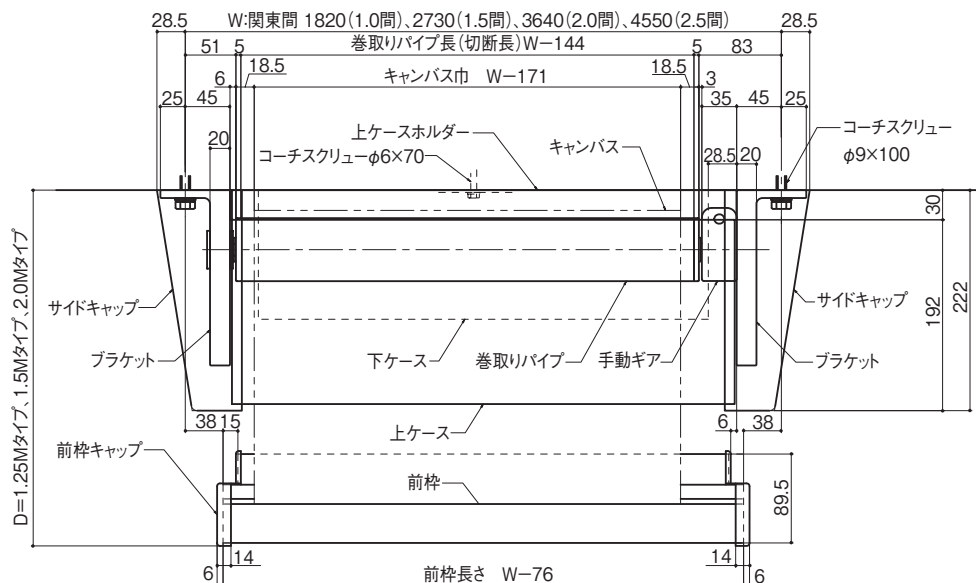
【オプション】ベースプレート納まり



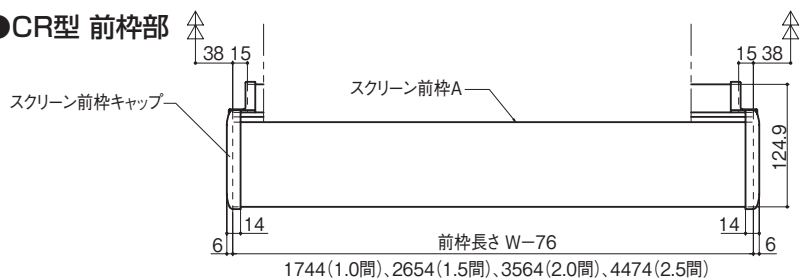
■平面納まり図

■手動式 (外観右側駆動の場合)

※外観左側駆動の場合は左右対称です。

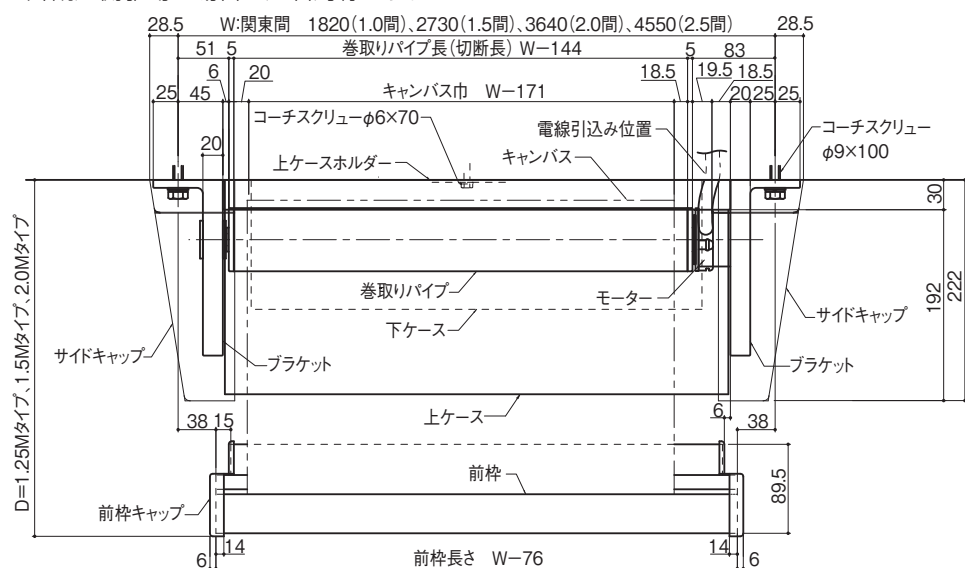


●CR型 前枠部



■電動スイッチ式 電動リモコン式 (外観右側駆動の場合)

※外観左側駆動の場合は左右対称です。



●CR型 前枠部



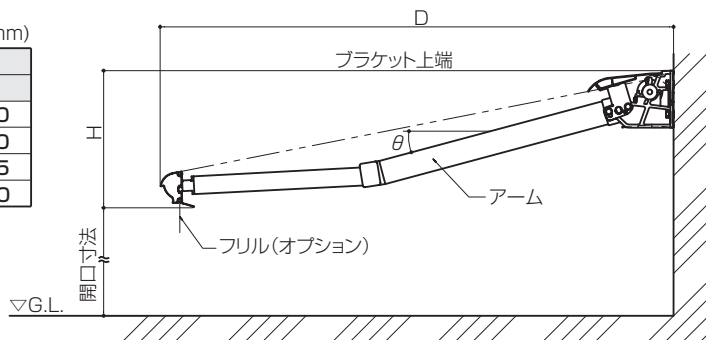
■製品重量

駆動方式	下詰め	間 隔				(単位:kg)
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	
(手動式)	1.25m	20.2	27.1	33.9	45.8	
	1.5m	—	27.6	34.6	46.6	
	2m	—	28.4	35.6	47.8	
(電動スイッチ式)	1.25m	21.7	28.6	35.4	47.3	
(電動リモコン式)	1.5m	—	29.1	36.1	48.1	
	2m	—	29.9	37.1	49.3	
CR型の場合		+4.2	+5.5	+8.4	+9.2	

■出幅とこう配の関係

●こう配寸法(数値は参考)

出幅 θ角度	1.25m		1.5m		2m		(単位:mm)
	D	H	D	H	D	H	
15°	1290	340	1550	380	2030	460	
20°	1270	435	1525	500	1995	620	
25°	1240	530	1490	615	1945	775	
CR型の場合	+40	+20	+40	+20	+40	+20	



■取付け位置の障害物確認

※取付け位置の上下に障害物があると取付けられないことがありますので、下記を確認してください。

1 取付け位置の上部に障害物がある場合

●ブラケット上端から5mm以内に障害物がないこと。

※上ケース躯体部にシーリングが必要な場合は、作業スペースを考慮してください。

2 取付け位置の下部に障害物がある場合

●ブラケット下端から5mm以内に障害物がないこと。

●(手動式)…躯体からの出寸法が65mm以下であること。

(右図の手動ギア部の障害物限界クランクハンドルが当たります。)

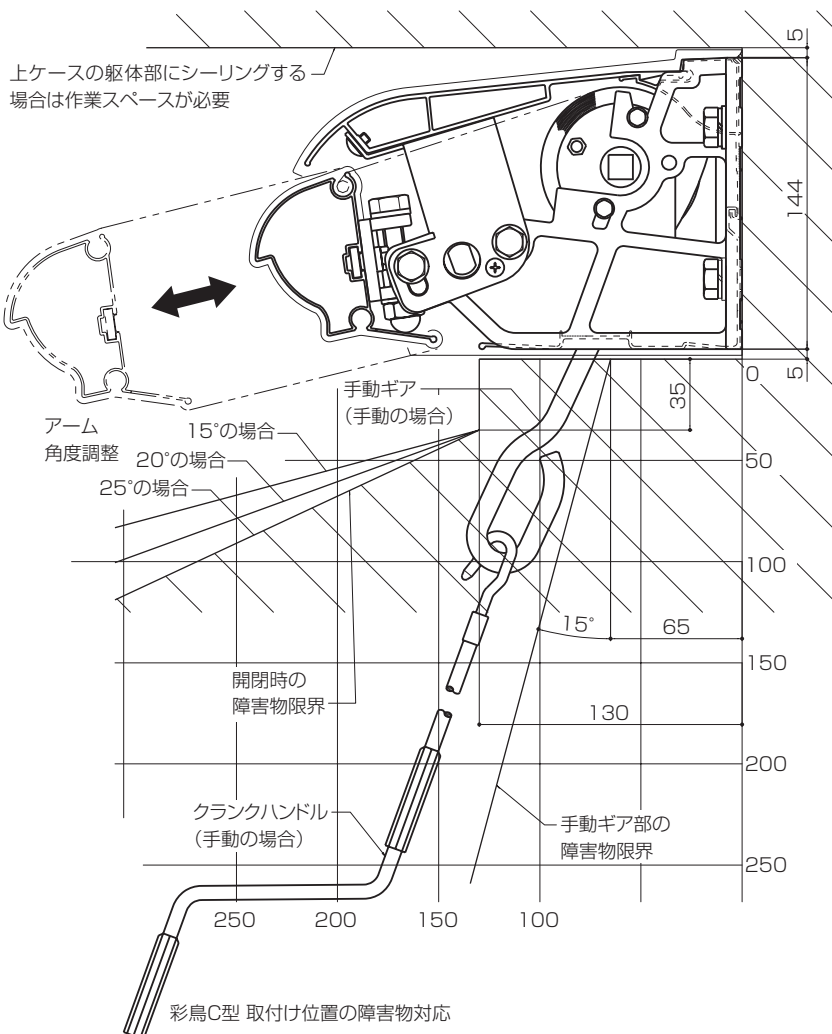
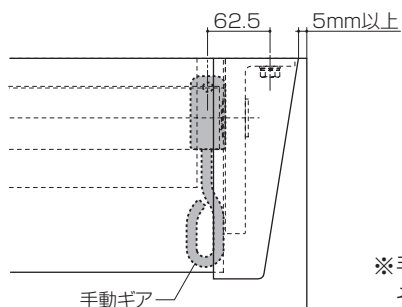
●アーム角度による制限…アームの角度調整範囲に障害物がないこと。

(右図の開閉時の障害物限界)

●CR型のスクリーンを出したままキャンバスを開閉する場合は、スクリーン下げ巾に障害物がないこと。

■入隅部分や並べて取付ける場合の間隔

(手動式) クランクハンドル(手動ギア)の位置



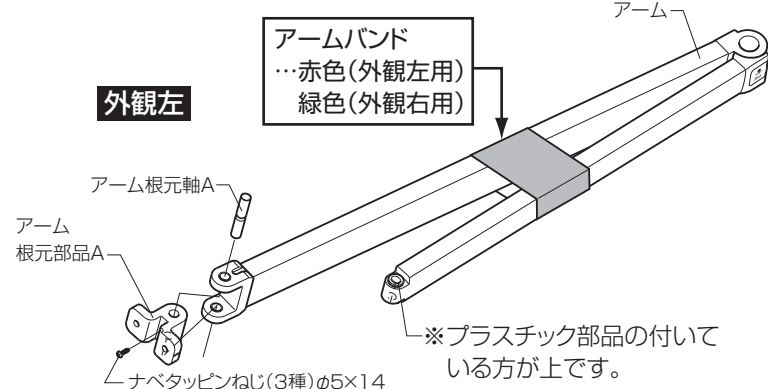
※手動ギア・クランクハンドルは(手動式)専用の事項です。
それ以外は(手動式) (電動スイッチ式) (電動リモコン式) 共通事項です。

■部品の組立て ※取付け前に行ってください。

1 アームの組立て

※アームには左右があります。アームバンドおよびシールの表示で見分けてください。

※アーム根元軸Aが動かないよう固定してください。

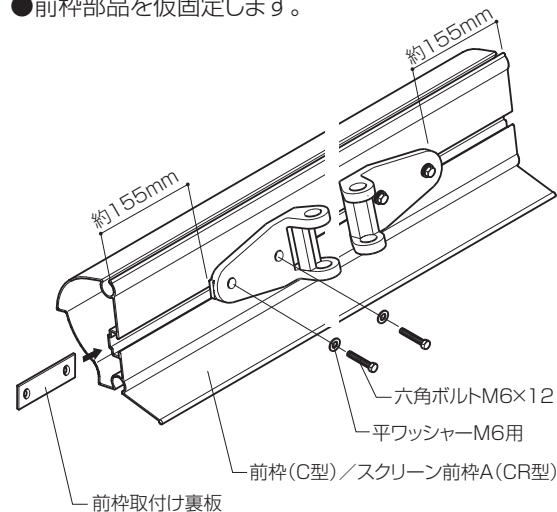


⚠ 注意

●左右のアームをブラケット・前枠に取付け終わるまで、アームバンドを外さないでください。

2 前枠の組立て

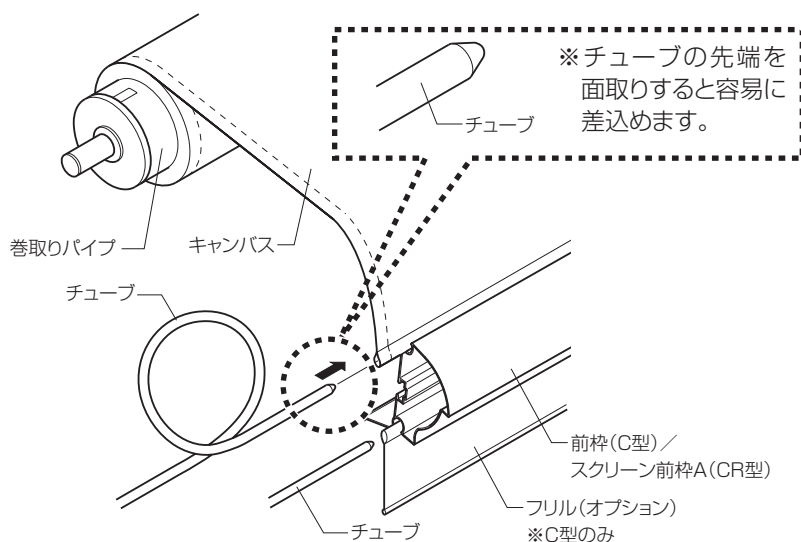
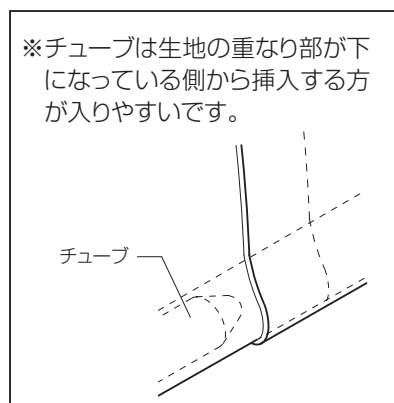
●前枠部品を仮固定します。



3 キャンバス・フリルの組込み

①キャンバスにチューブを差込み、前枠に組み込みます。

※チューブは生地のリヤ部分になっている側から挿入する方が入りやすいです。



■駆動部分の左右替えの仕方

- ①巻取りパイプから、キャンバス生地を外します。
- ②巻取りパイプを左右反転します。
- ③巻取りパイプにキャンバス生地を取付けます。

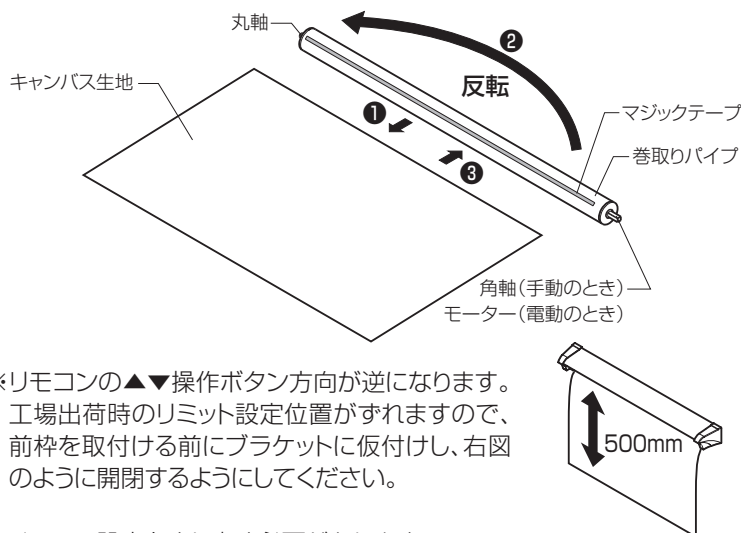
(※キャンバスはマジックテープで取付けていますので、簡単に付け直せます。)

※ **電動スイッチ式** モーター電線の赤と黒の結線を逆に、回転方向を変えます。

電動リモコン式

【センサーを取付けない場合】 ※リモコンの▲▼操作ボタン方向が逆になります。工場出荷時のリミット設定位置がずれますので、前枠を取付ける前にブラケットに仮付けし、右図のように開閉するようにしてください。

【センサーを取付ける場合】 ※リモコン設定をやり直す必要があります。(別途説明書をお取寄せください。)



■取付け詳細

Ⅰ上ケースホルダー・ブラケットの取付け

※上ケースホルダー・ブラケット・ベースプレートは、平坦で凹凸のない面に取付けてください。

①下穴をあけます。

ねじ種類	下穴径
コーチスクリューφ6	φ4.5
コーチスクリューφ9	φ5.5
アジャストアンカーφ10	φ15

※壁面からボルトなどを出して取付ける場合は、20mm以下にしてください。

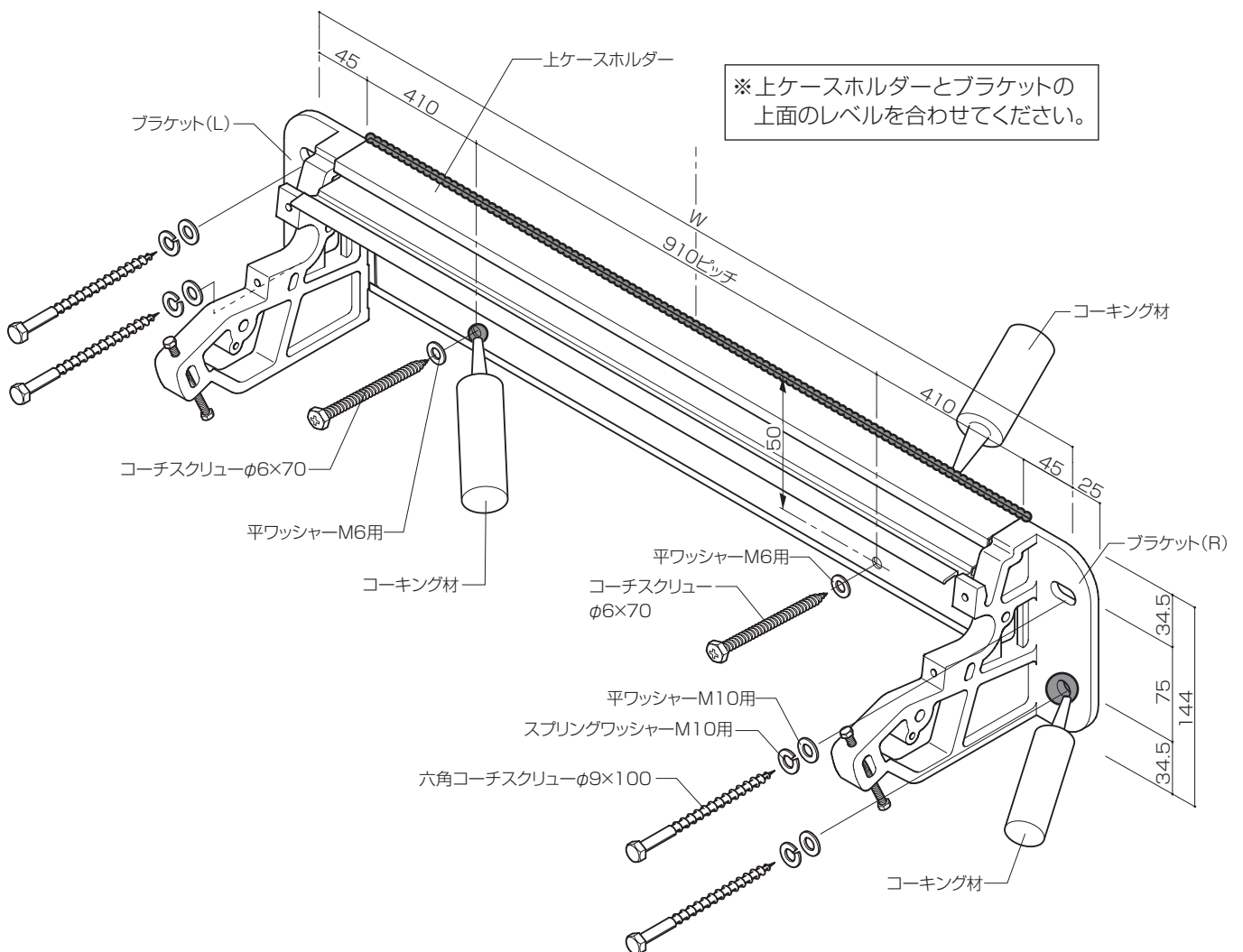
②上ケースホルダーをブラケットの上面に合わせて水平に取付けます。

③ブラケットを取付け、丸軸側は仮止めにします。

※ブラケットは必ず垂直かつ左右を平行に向い合せて取付けてください。

▲ 注 意

- ブラケット・ベースプレートは、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。

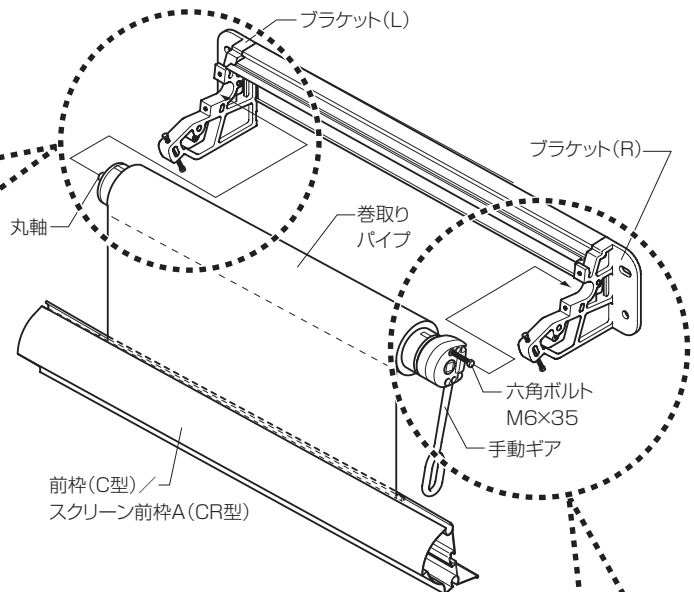
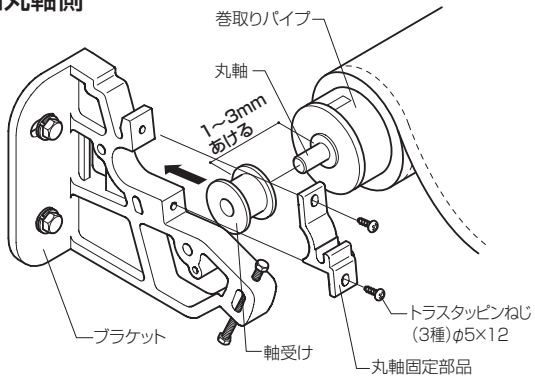


※「ベースプレートの納まり」はP.18、P.19をご覧ください。

2 巻取りパイプの取付け

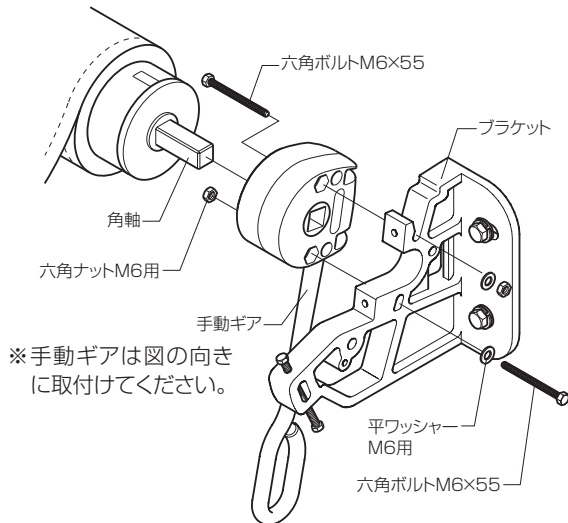
- ① 仮止め側のブラケットを、巻取りパイプが入れやすいよう少し外側にずらしします。
 - ② 駆動側のボルトを上側だけ取付けます。
 - ③ 巻取りパイプを持ち上げて、駆動側はボルトを、丸軸側は丸軸をブラケットにいったんのせます。
 - ④ 駆動側のボルトを取付け固定します。
 - ⑤ 丸軸側に軸受けを取付け、丸軸固定部品で固定します。
 - ⑥ ブラケットを戻して垂直に固定します。
- ※巻取りパイプと軸受けの間は1～3mmあけてください。

丸軸側

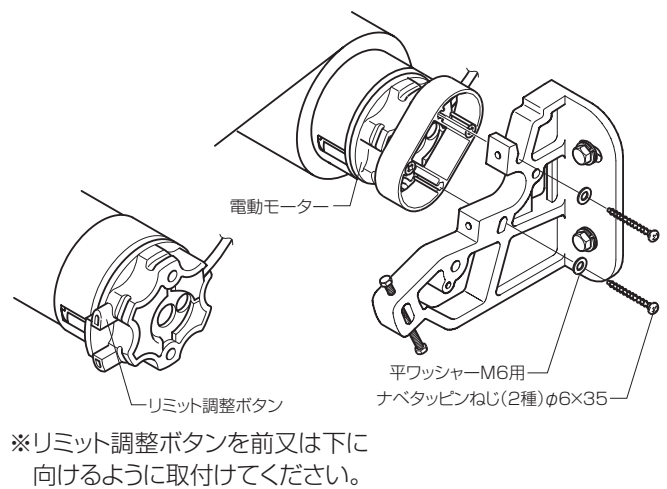


駆動軸側

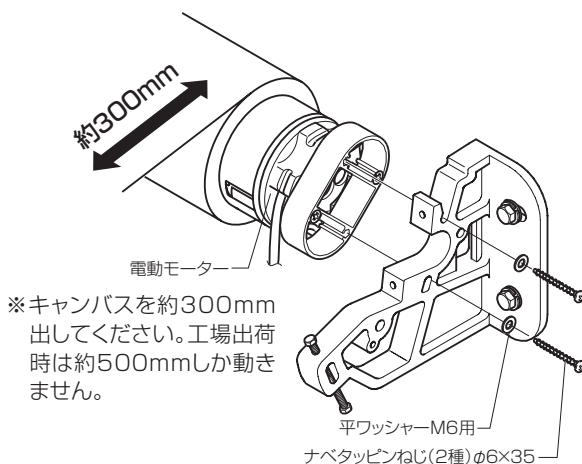
手動式



電動スイッチ式



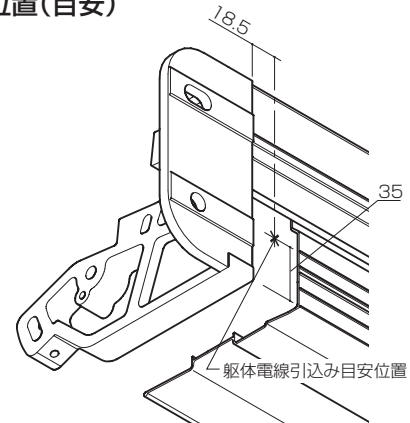
電動リモコン式



電動スイッチ式

電動リモコン式

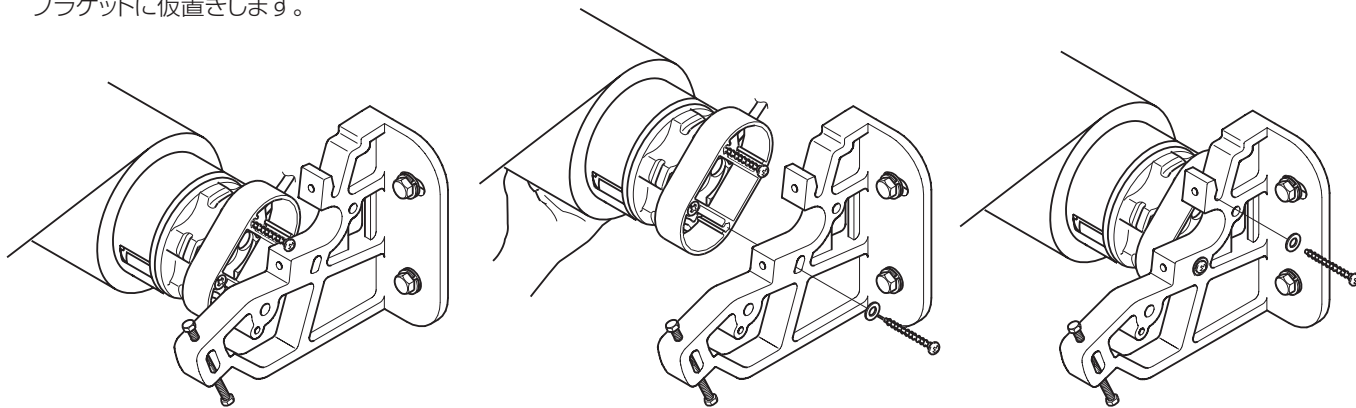
躯体電源引込み位置(目安)



※柱などと干渉する場合はずらしてください。

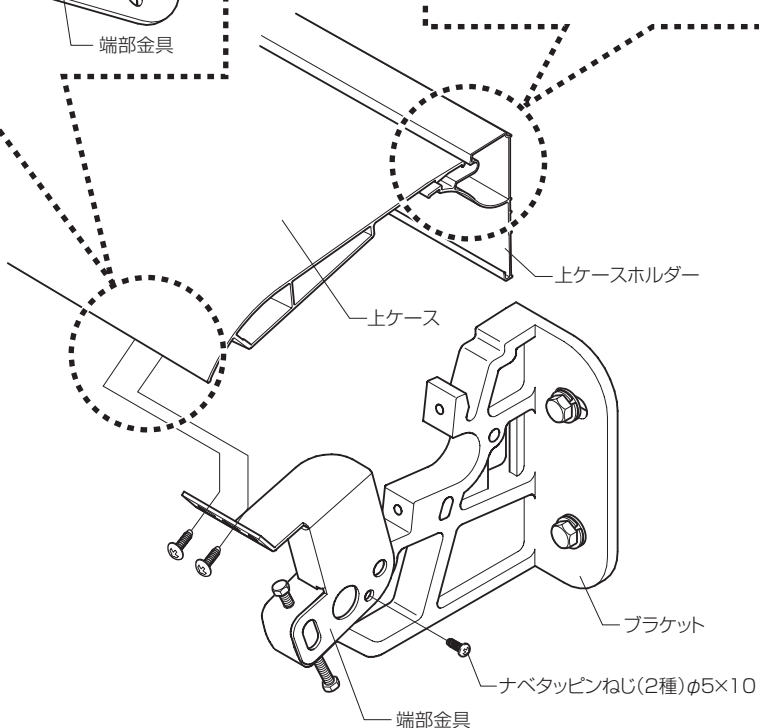
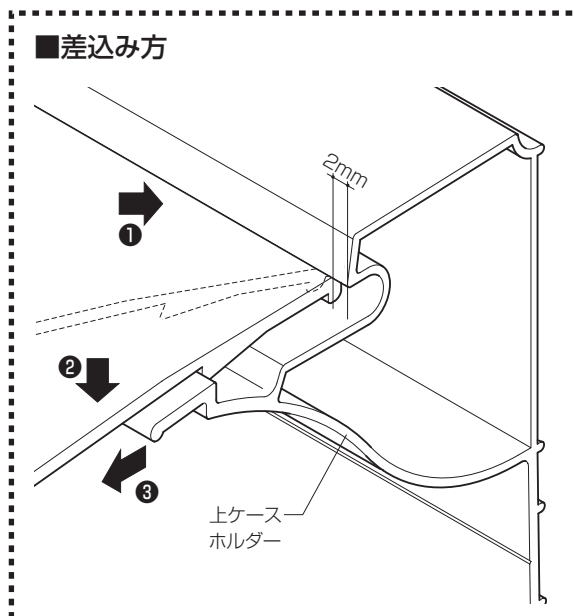
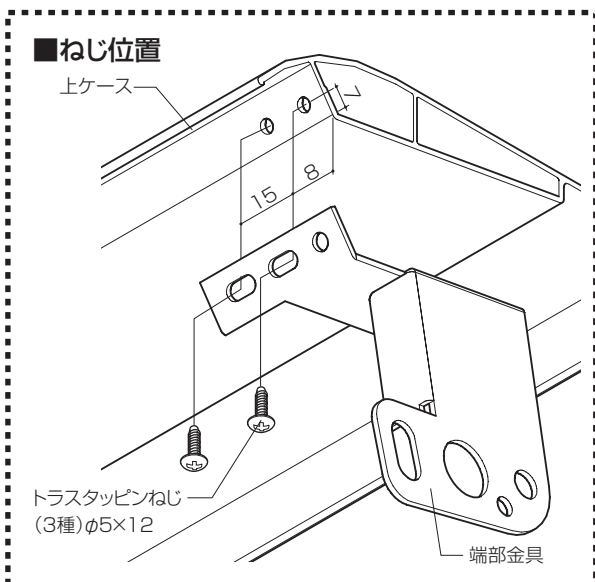
■1人施工の仕方（※図は（電動スイッチ式）／（電動リモコン式）を例に示します。）

- ①駆動側のボルト・ねじを1本仮付けし
ブラケットに仮置きします。
- ②もう1本のボルト・ねじを取付けます。
- ③仮付けのボルト・ねじを本付けします。



■3上ケースの取付け

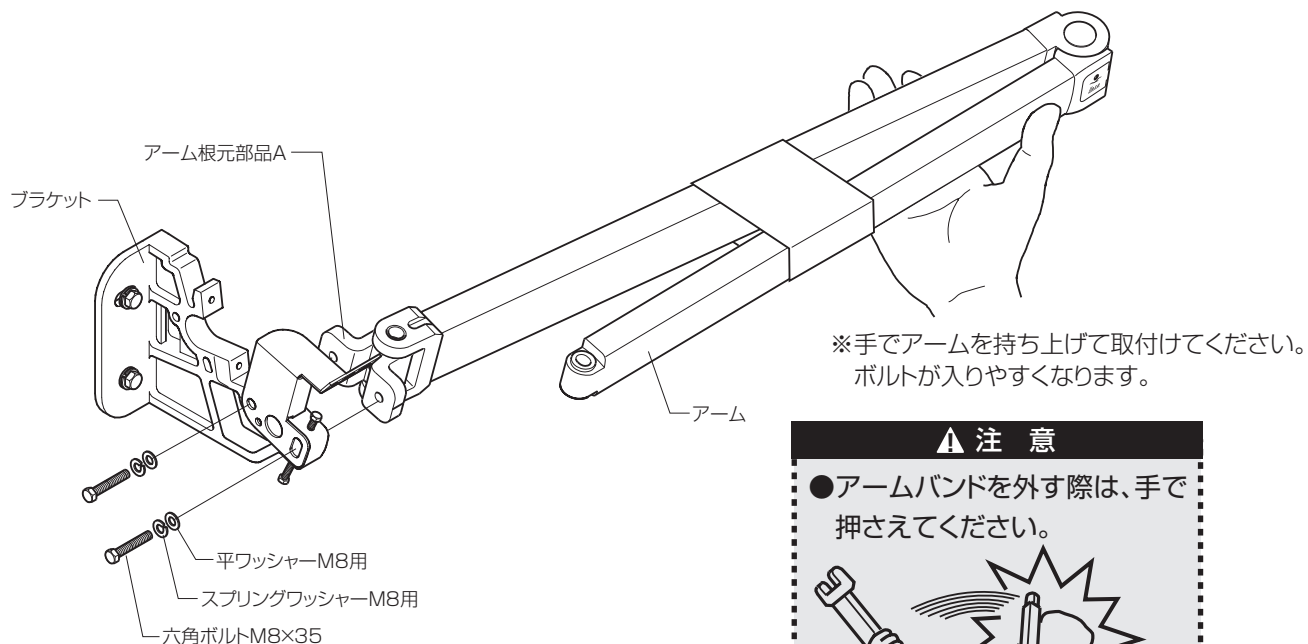
- ①端部金具をブラケットに取付けます。
- ②上ケースをブラケットの内側から2mmあけて取付けます。



4 アームの取付け・調整

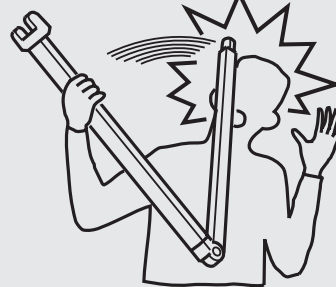
※アームは左右があります。アームバンドおよびシールの表示で見分けてください。

①ブラケットにアームを取付けます。



⚠ 注意

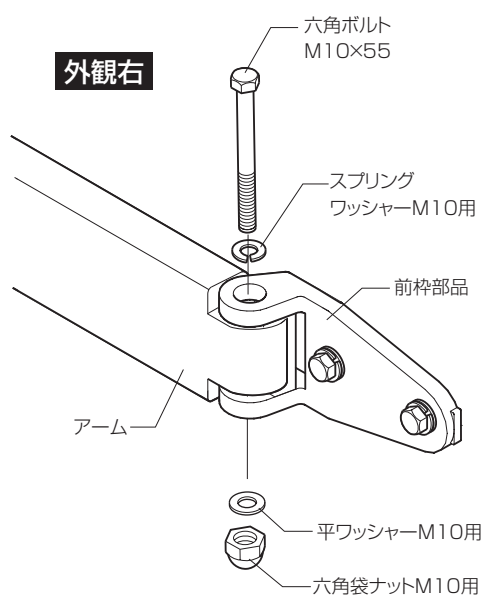
●アームバンドを外す際は、手で押さえてください。



■前枠側の取付け

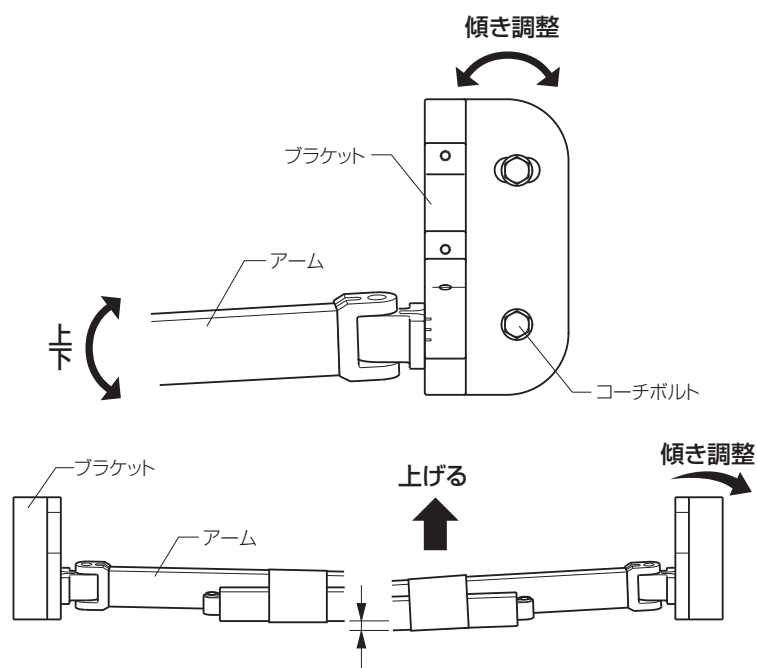
※ボルトはスプリングワッシャーが少し変形する程度で軽く締めてください。

※開閉時に音鳴りがする場合は、少しゆるめてください。



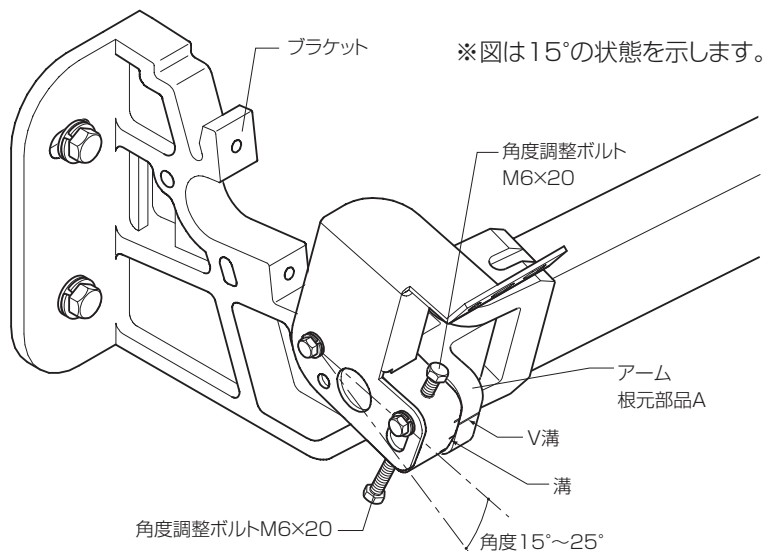
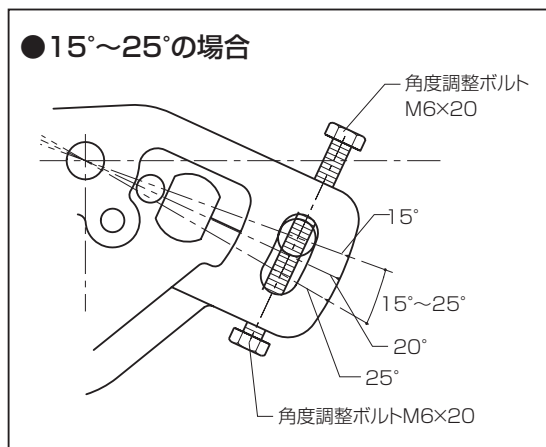
■アームの調整

※アームを壁側に一直線にし、左右のバランスをボルトをゆるめ、ブラケットの傾きで調整してください。

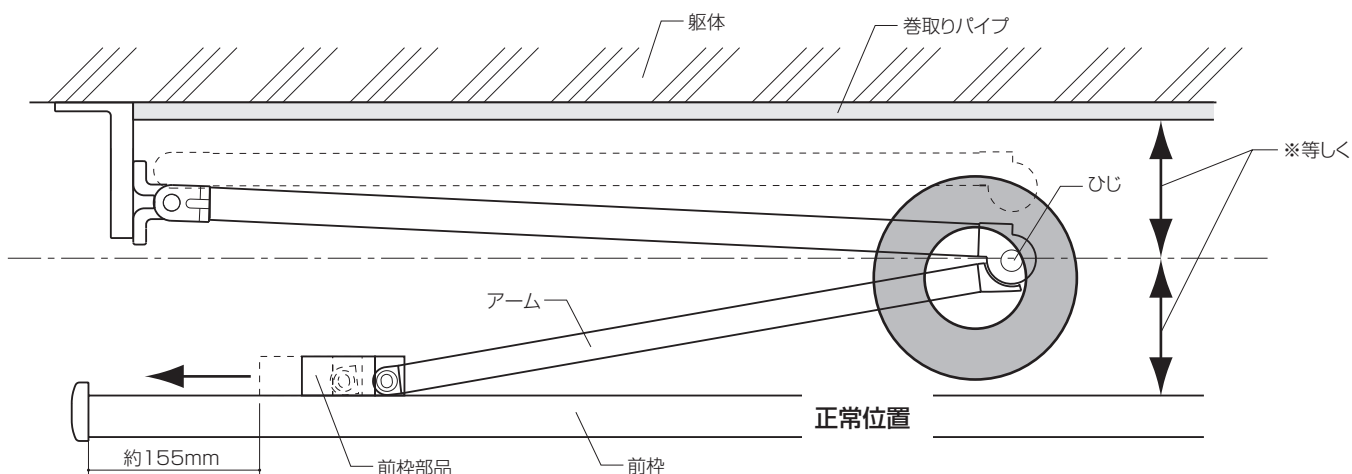


②アームのこの配角度を調整します。

※アーム根元部品AのV溝をブラケットの溝に合せて、アーム角度を設定します。
角度を決めたら角度調整ボルトで位置を決めます。



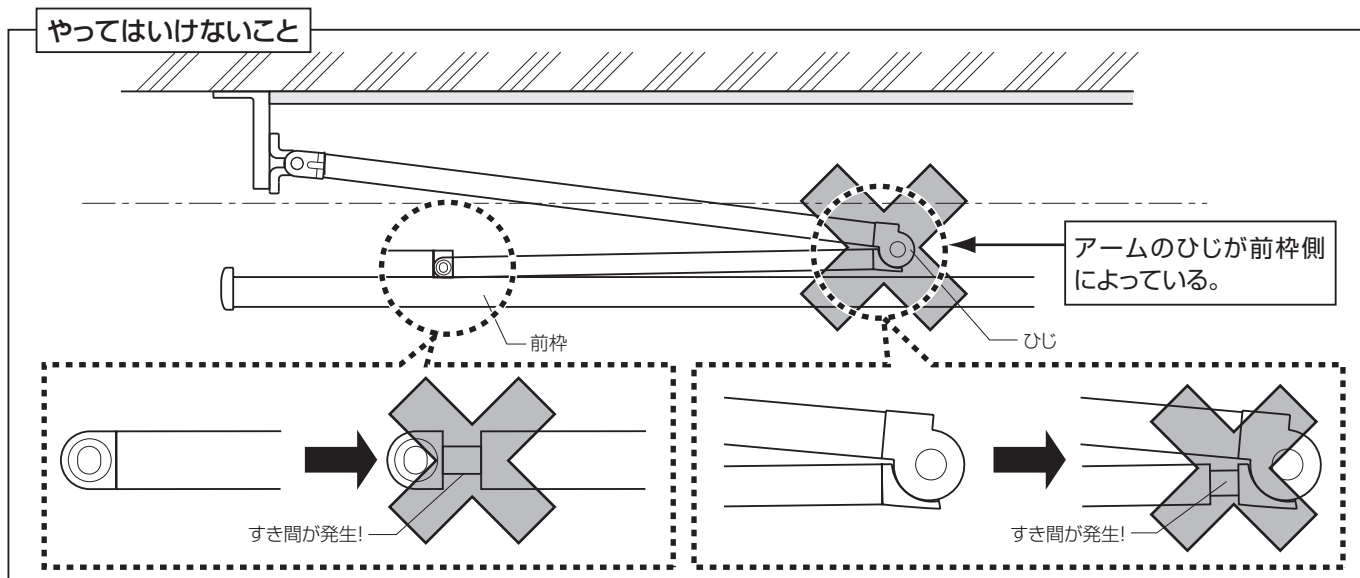
③前枠部品を下図のように数ミリずつ移動させ、アームのひじが前枠と巻取りパイプの間に位置するように調整します。
※アームのひじを持ち上げ、前枠部品をプラスチックハンマーで軽くたたいて少しずつ移動させます。



④前枠部品を固定します。

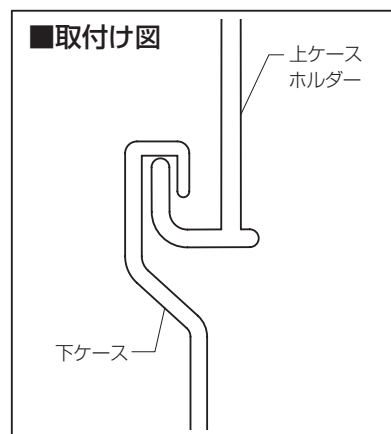
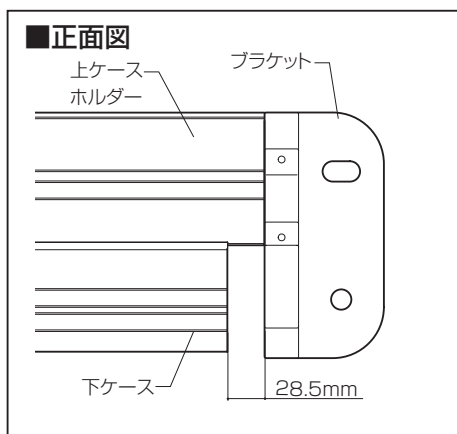
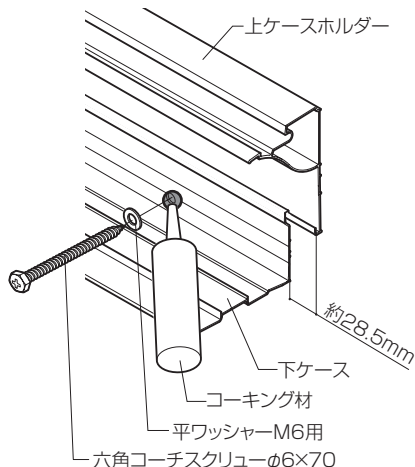
※下記の調整を行わないとアームのジョイント部が破損(すき間)します。

⑤前枠の水平やアームの角度を②③の操作で調整します。



5 下ケースの取付け

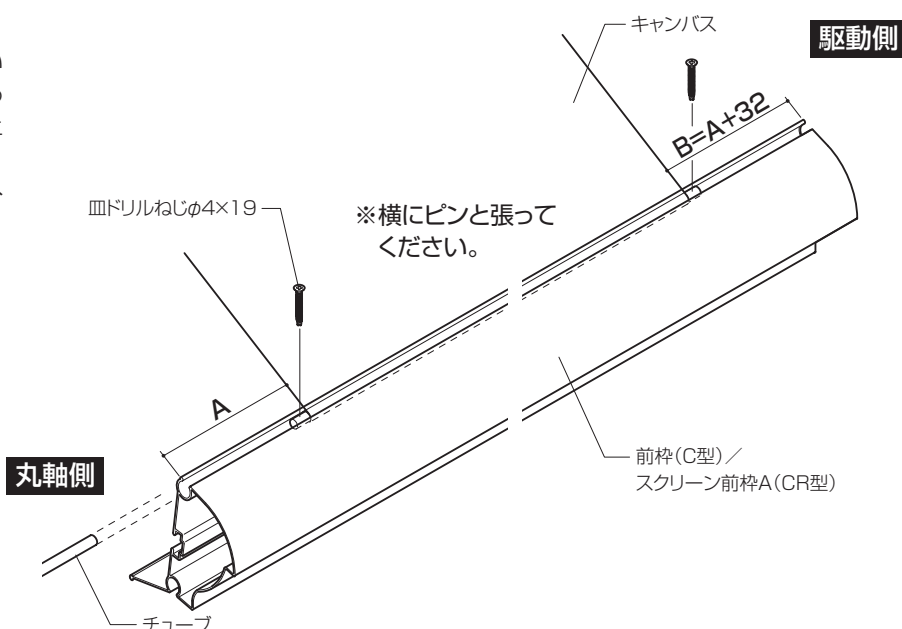
●下ケースを、上ケースホルダーに引っ掛け、ブラケットの内側から28.5mmあけて取付けます。



6 キャンバスの固定

●開閉したときキャンバスが横ズレしないよう、チューブをキャンバスから少し出る位置でカットし、外側に皿ドリルねじを止めて固定します。

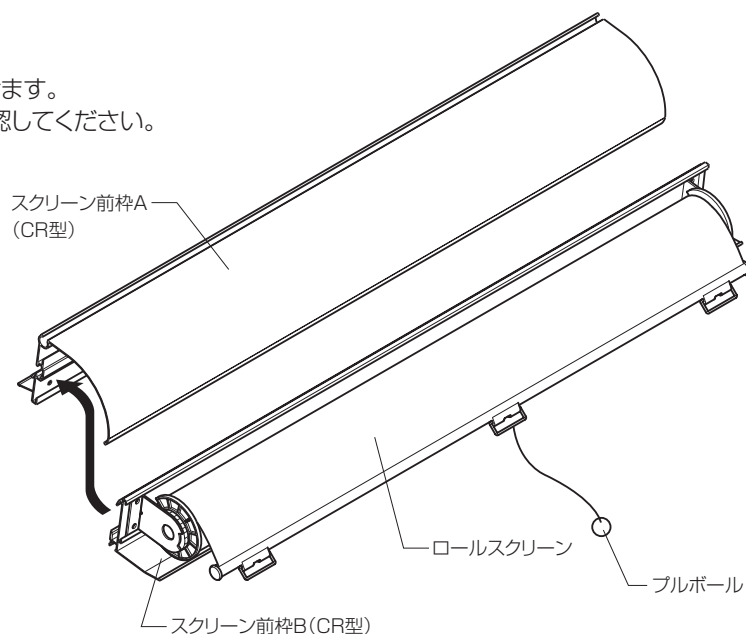
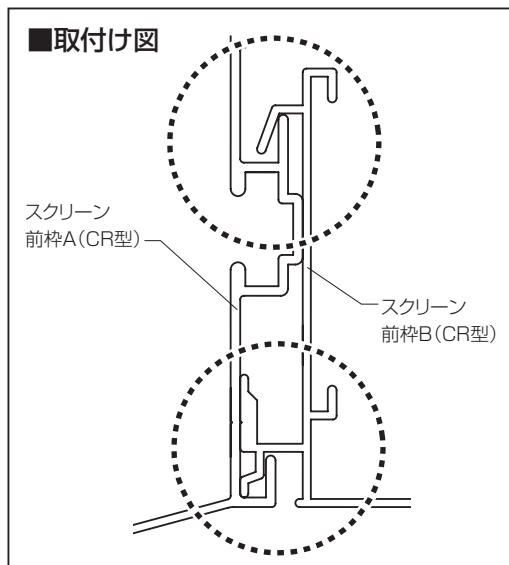
※キャンバスが巻きズレしないよう、前枠への取付け位置を調整してください。
目安寸法は右図を参考にしてください。



【CR型場合のみ】

■スクリーン前枠Bの取付け

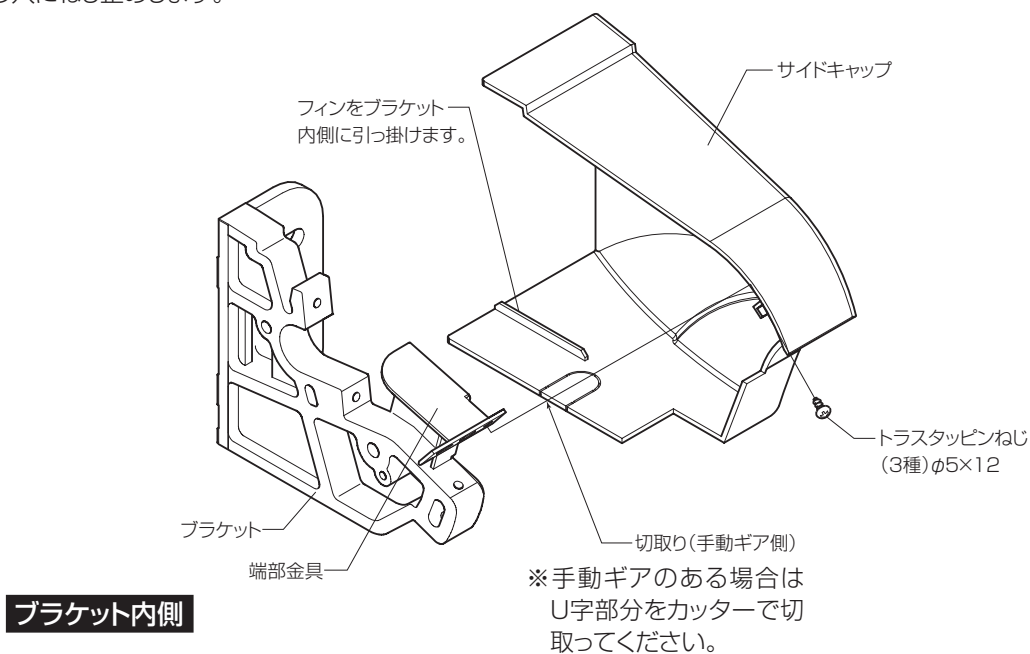
●CR型用スクリーン前枠Aにスクリーン前枠Bを引っ掛けます。
※通しで引っ掛かっているかどうか、左右端部を必ず確認してください。



※スクリーン操作フック棒(オプション)を用意しています。スクリーンを出したときの固定方法は「可動式日除け取扱い説明書」をご覧ください。

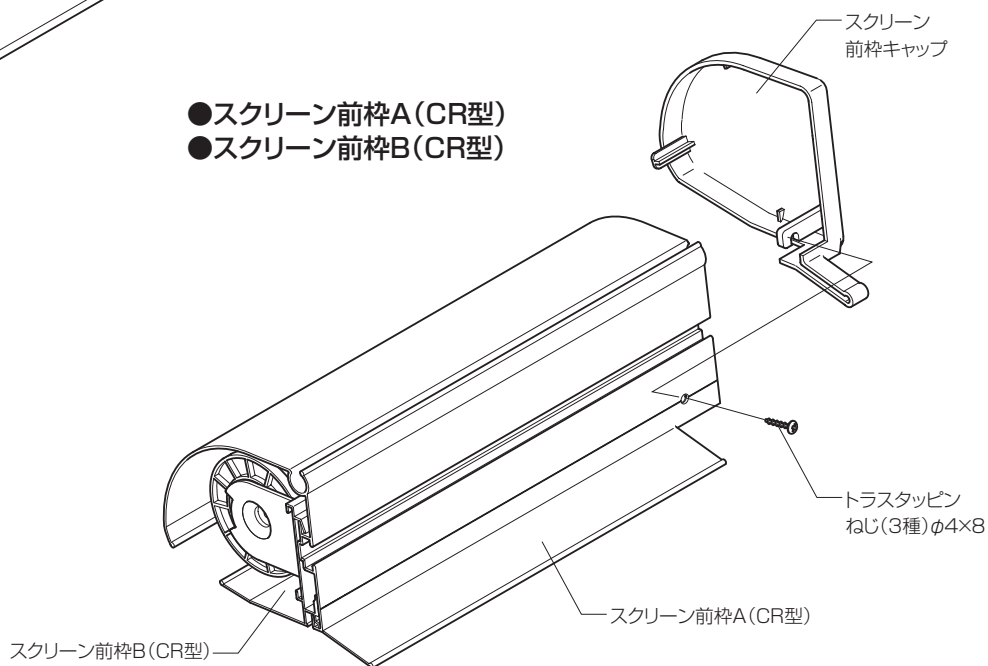
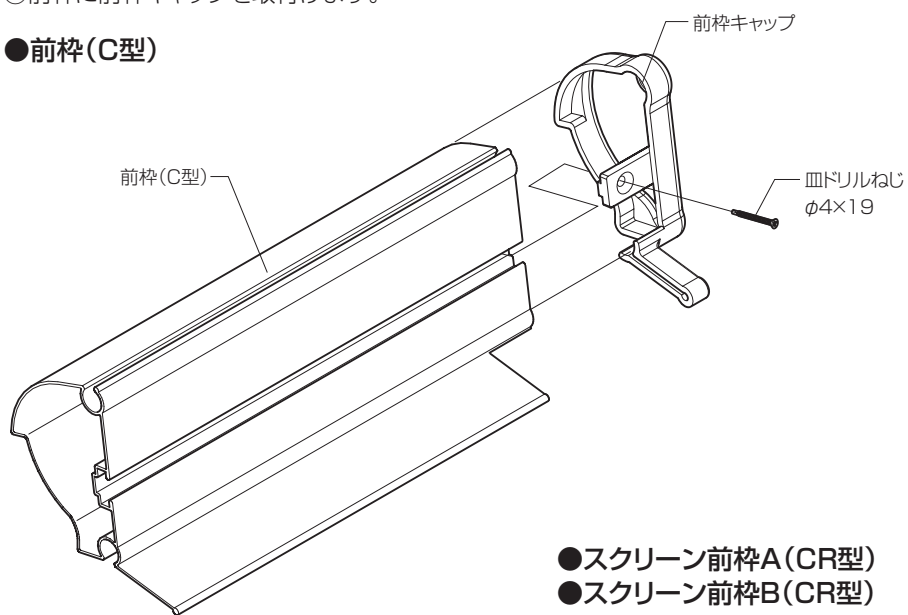
7 キャップの取付け

①端部金具外側の穴にねじ止めします。



②前枠に前枠キャップを取付けます。

●前枠(C型)



8 開閉リミット(限界)調整

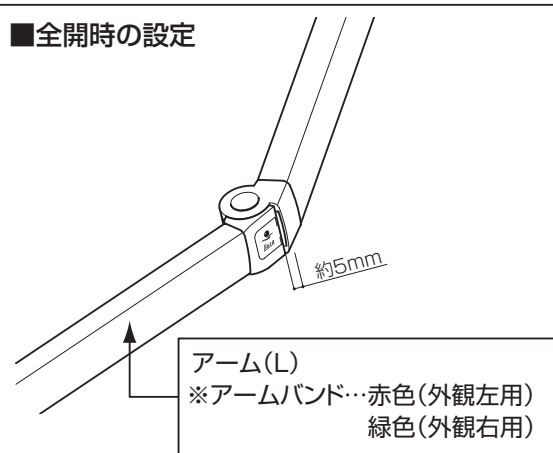
※全開の場合は、アームが伸びきった状態から少し巻戻した状態で設定してください。

伸びきった状態にすると風が吹いたときにアームが破損しやすくなります。又、巻戻らない場合があります。アームのひじ部品のベルトが5mm程度見えるように設定してください。

※キャンバスを張出す(開く)場合は、周囲に障害物(木の枝・電線・アンテナなど)がないか確認してください。

※リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。

■全開時の設定

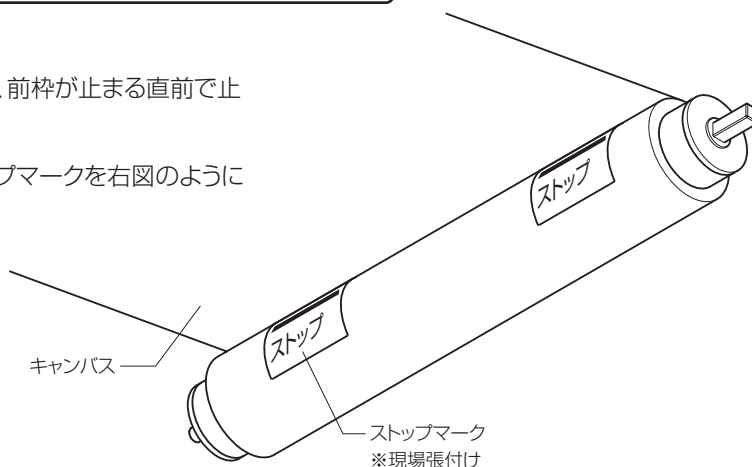


手動式 **電動スイッチ式** **電動リモコン式** で調整方法が異なります。

手動式

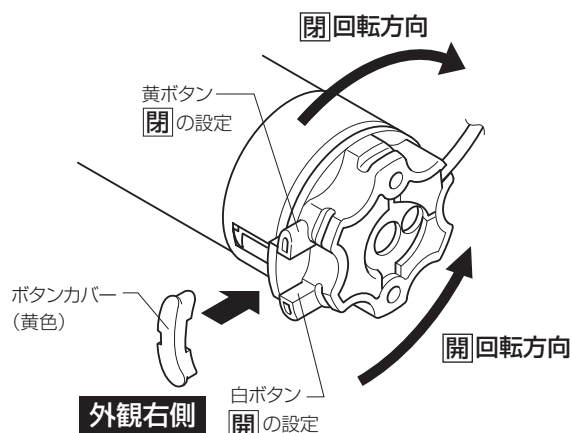
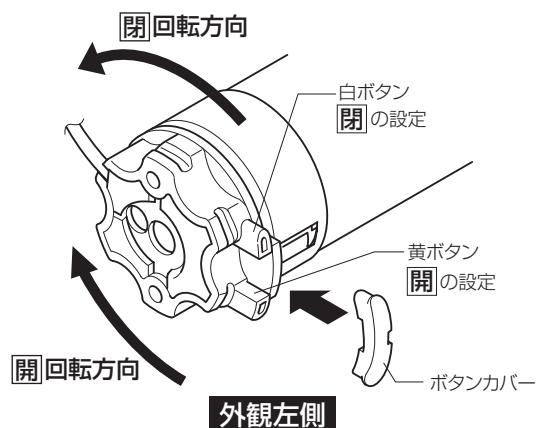
【開くとき】 ※ストッパーはありませんので、前枠が止まる直前で止めてください。

【閉じるとき】 ※全開時の設定以内で、ストップマークを右図のように張付けます。



電動スイッチ式

- ①電源の入っていない状態でボタンカバーを外し、リミット調整ボタン(2個)を押します。
※ボタンが下がった状態■になり、未設定状態になります。
- ②電源を入れ、スイッチを入切して止めたいところで停止させます。
- ③巻取った(閉じた)状態の場合は外観手前のボタンを押し、上った状態■にします。
張出した(開いた)状態の場合は外観奥のボタンを押し、上った状態■にします。
※リミット調整が設定され、この位置にくると自動停止します。
- ④作動確認し、リミット調整が正しく設定されていない場合は①～③の手順をやり直します。
- ⑤ボタンカバーを取付けます。



電動リモコン式 次のページへ

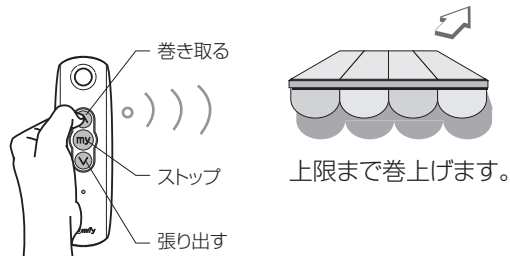
電動リモコン式

※開閉をひんぱんに繰り返すと設置途中でモータ温度が上がり、安全装置により電源が切れます。30分ほど休ませれば再び動きます。
ただし、設定は元の状態に戻ります。施工時は5秒動かすと2秒止める間隔で操作してください。

※リミット位置は工場出荷時に仮設定しています。上限・下限リミット位置の本設定をします。

① 上限リミット位置の設定

①「UP▲」ボタンを押し、上限リミット位置まで巻上げます。



②「UP▲」と「DOWN▼」ボタンを同時に約5秒押します。
※中途位置では反応しません。



③「UP▲」「DOWN▼」ボタンで希望する上限位置に合わせます。

※このとき、スイッチの赤ランプが点灯(5秒間)している間だけ動きます。大きく動かしたい場合は数回ボタン操作をくり返してください。

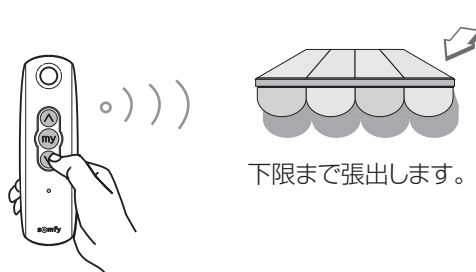


④「STOP」ボタンを約2秒押します。



② 下限リミット位置の設定

①「DOWN▼」ボタンを押し、下限リミット位置まで張出します。



②「UP▲」と「DOWN▼」ボタンを同時に約5秒押します。
※中途位置では反応しません。



③「UP▲」「DOWN▼」ボタンで希望する下限位置に合わせます。

※このとき、スイッチの赤ランプが点灯(5秒間)している間だけ動きます。大きく動かしたい場合は数回ボタン操作をくり返してください。



④「STOP」ボタンを約2秒押します。



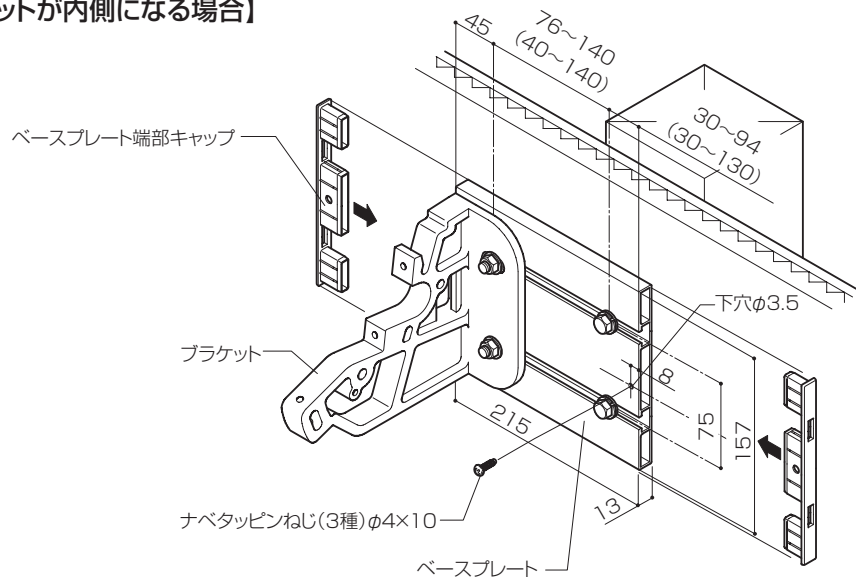
■ベースプレート(オプション)納まりの場合

※経年変化などで躯体の損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補修してから取付けてください。

※ベースプレート(オプション)は、ブラケットを直接構造材に取付けられない場合に使用する調整材です。

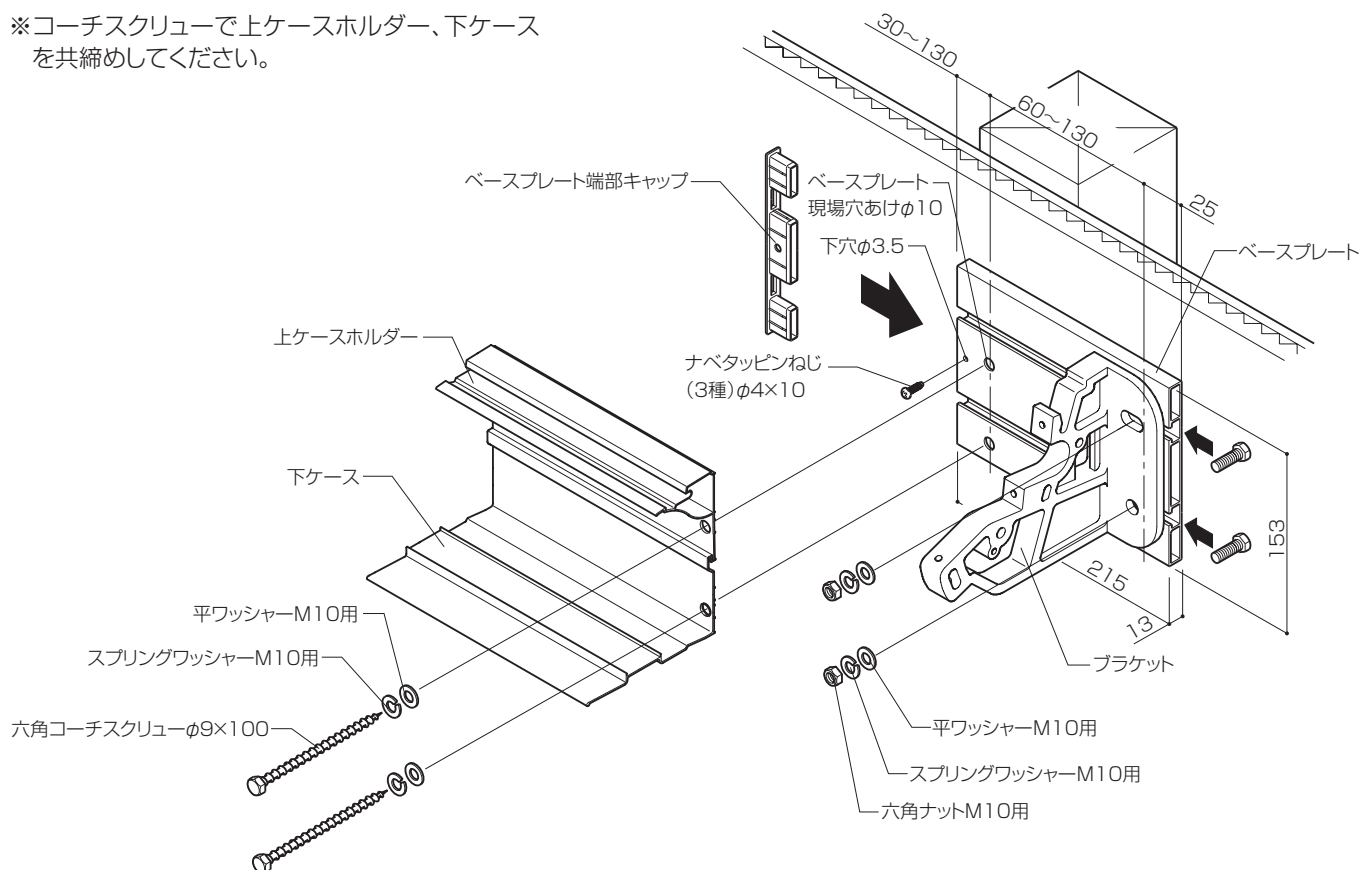
●ベースプレート(L=215タイプ)

【ブラケットが内側になる場合】



【ブラケットが外側になる場合】

※コーチスクリューで上ケースホルダー、下ケースを共締めしてください。

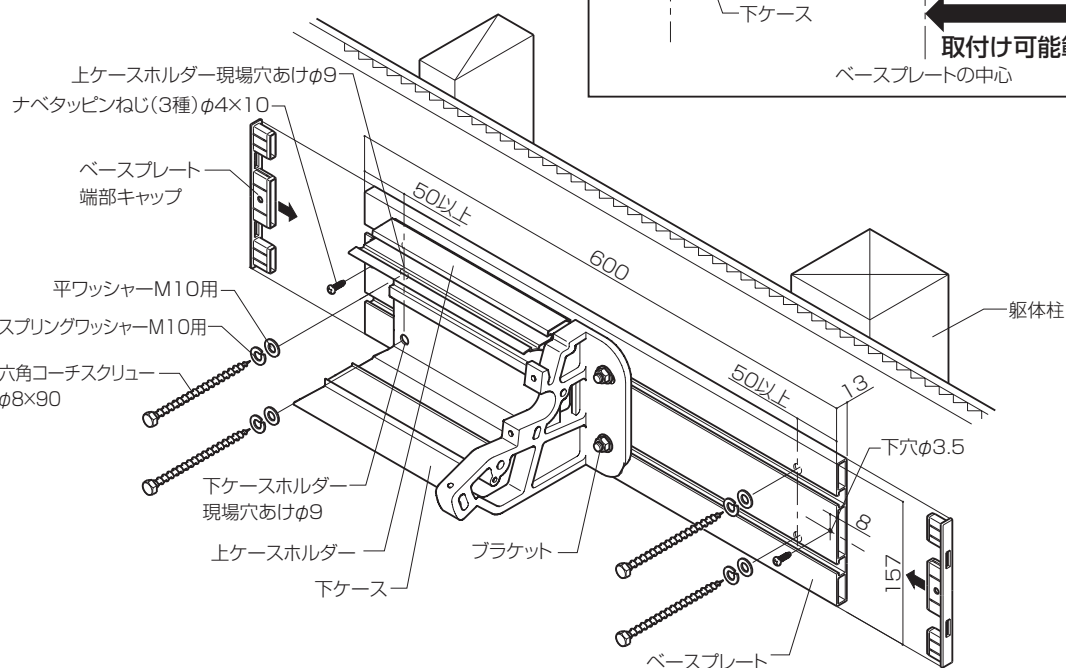
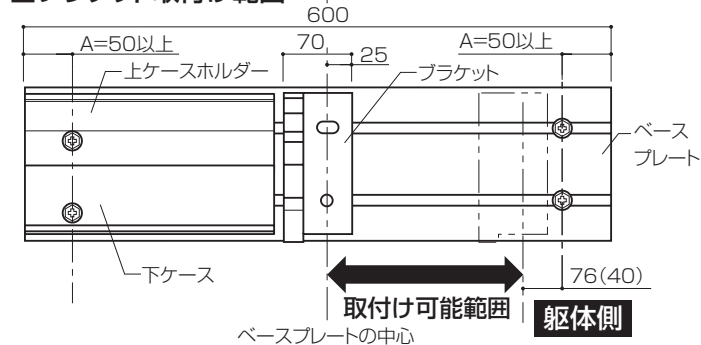


●ベースプレート(L=600タイプ)

※ベースプレート長尺(呼称L=5235)の場合も、L=600に準じて取付けてください。

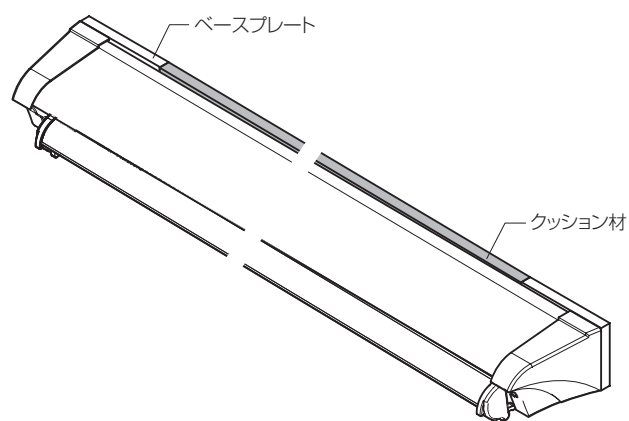
※コーチスクリューで上ケースホルダー、下ケースを共締めしてください。

■ブラケット取付け範囲



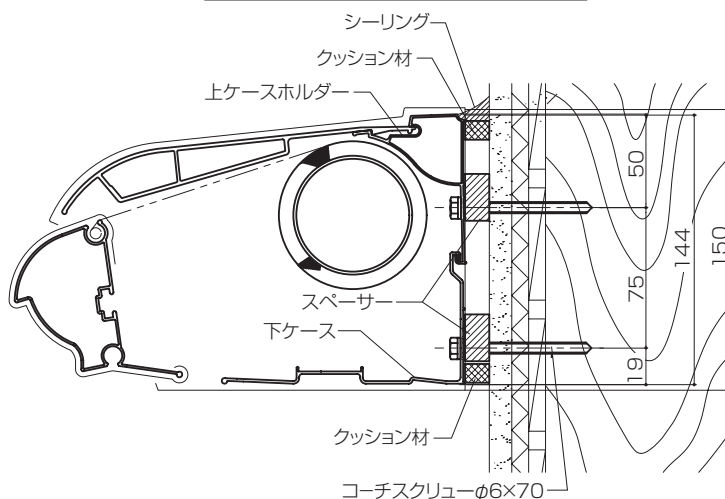
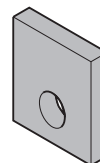
●ベースプレート取付け時の中間の納め方

- ①上ケースホルダーおよび下ケースの固定コーチスクリュー部にスペーサー（オプション）を張付けます。
- ②上ケースホルダーの上端3mmをあけて、クッション材を張付けます。
- ③下ケースの下端にクッション材を張付けます。



■スペーサー

- 形状の穴位置に
合わせ、取付け
ます。



⚠ 注意

- 積雪地域ではベースプレートを通して入れてください。

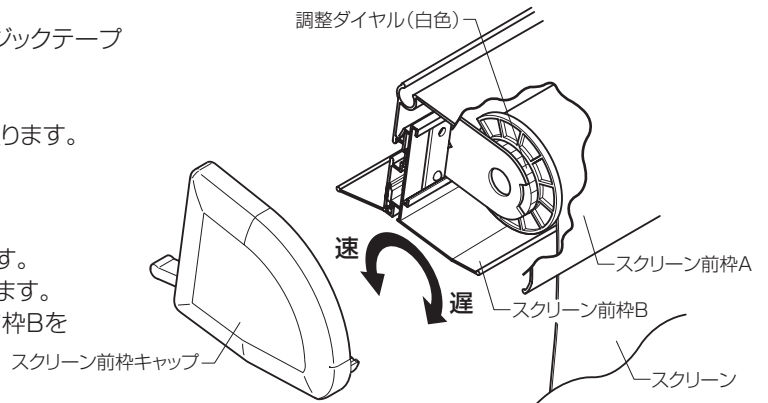
■メンテナンス方法

■キャンバスの交換

- ①前枠からチューブを抜き、キャンバスを外します。
- ②巻取りパイプからキャンバスをほどいて外します。
- ③新しいキャンバスを巻取りパイプに一直線になるようマジックテープで取付けます。
- ④前枠にチューブでキャンバスを差込みます。
- ⑤キャンバスの巻きずれがないか確認し、キャンバスを巻取ります。

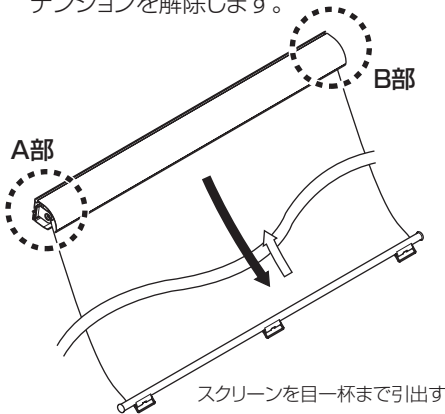
■CR型 スクリーン巻上げ速さの調整

- 巻上げ速さを調整する場合は、調整ダイヤルを回します。
- ※スクリーンが【出ている】方向→巻上げ速度が遅くなります。
- ※スクリーンが【巻き上がる】方向→巻上げ速度が速くなります。
- ※回しづらい場合、スクリーン前枠キャップやスクリーン前枠Bを外して調整してください。

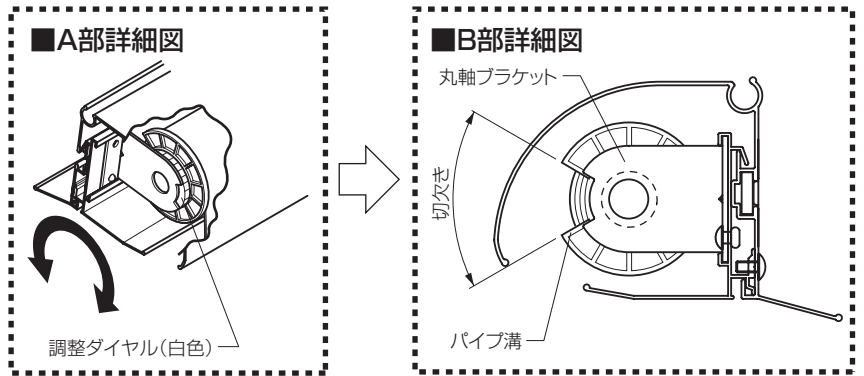


■CR型 スクリーンの交換方法

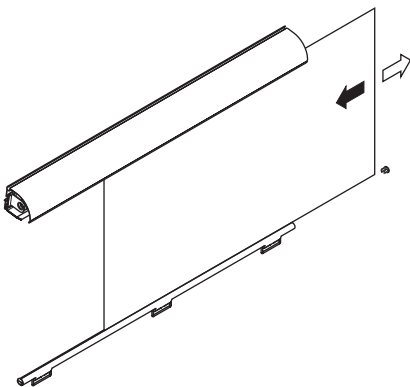
- ①スクリーンを目一杯まで引出し、巻取りテンションを解除します。



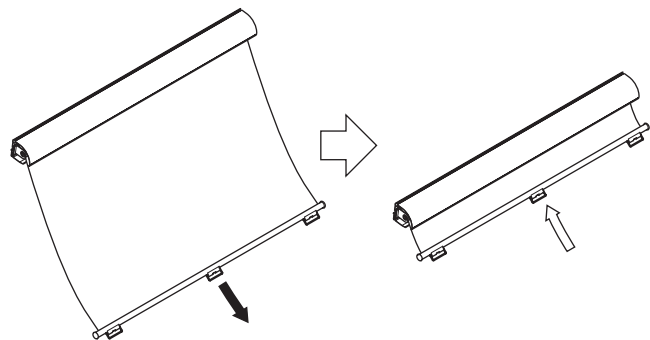
- ②調整ダイヤルを回し、スクリーンの巻取りパイプ溝が丸軸ブラケットの切欠き位置にくるように調整します。



- ③スクリーンを横からスライドして引出し、新しいスクリーンと交換します。



- ④スクリーンを再度引っ張り、巻取りテンションを復活させ、スクリーンを巻取ります。



■施工後のチェック項目

①	ブラケットの取付けボルトのゆるみ・締め忘れはないか	9ページ
②	ブラケットの取付けコーチスクリューにシーリングはしたか	9ページ
③	丸軸と軸受けの間は1～3mmあいているか	10ページ
④	アームの左右・取付け方法は適正か	12・13ページ
⑤	アームのひじが前枠や巻取りパイプに当たっていないか	13ページ
⑥	アームのひじが下ケースに当たっていないか	12ページ
⑦	全開の場合、アームのひじは5mm程度開いているか	16ページ
⑧	前枠は断面図通り納まっているか	5ページ
⑨	キャンバスのたるみ・シワ・巻きずれはないか	14ページ